



・出・席・者・

小室 豊允

〈姫路独協大学
教授〉

若林 輝雄

〈イメージプロ
デューサー〉

岡田 美代

〈演出家〉

取坂由起子

〈セビータウン
主演〉

白羽 弥仁

〈映画監督〉

〈敬称略、順不同〉 司会・小泉美喜子〈月刊神戸っ子編集長〉

憶えていますか?! 16ミリ映画の〈セビータウン〉。あの学生監督白羽弥仁が、七年ぶりに神戸の街に帰ってきました。第二作、平中悠一の処女作〈シーズレイン〉を東映からいよいよ映画化! 神戸からの応援を募っています。大先輩、大森一樹監督(東宝系で〈満月〉を公開中)の神戸の代表作〈花の降る午後〉を追って、26歳になった白羽監督は、リクツのない「美しい神戸」を撮りたいと、一億五千万かかるという新作への情熱を語ってくれました。応援団と一緒に神戸の映像をどう創る—。

岡田 白羽さんの「セビータウン」は何年に撮ったんですか?

白羽 昭和59年です。まだ阪神が優勝していない(笑)。

取坂 上映した当初より今回の方が、笑いがとれましたよね。

若林 年配の人が照れ笑いしてるんだよね。クリーニング屋に「まけてエナ」という場面なんかね。

岡田 あれは体験から来るの?

取坂 まくれるものやったら、まけてもらおうという気持ちは今でもありますね。ダメでもとともとという気持ち。

岡田 それが神戸らしさかしら。

若林 神戸はある意味では楽なんだよな、そういうところが。でも逆に言うとなれ合いということもある。「セビータウン」はそういうところが少し出すぎてるんじゃないかな。パブリジャン、パブリジェンヌの持つ気品とインテリジェンスな

ところを表現して欲しかった。

白羽 あの頃は高い所から物を見るということができなかったんですよ。そのかわり、ドメスティックなことを具体的に描ける自信があったんです。

若林 神戸ではたいして実力のない人がふんぞりかえっている雰囲気がある。そういう人に限って文化と言ってるが協力はしないね。もっと新しい神戸をリードするブランドデザインがないといけないね。

●自然発生都市「神戸」

白羽 平中くんとも言うんですけど、神戸って「お母さんとお買物文化」なんですよね。つまり、家があって、都市がある、という考え方なんですよ。これが東京と言うと逆になる。都市があって家があるんです。自分は都市に遊びに出て、家では母親が寝てるのか何



取坂 由起子 さん

をしているのか知らないという。関西ではおうちのお母さんと一緒に買物をする事によって、都市に掛けていくわけです。

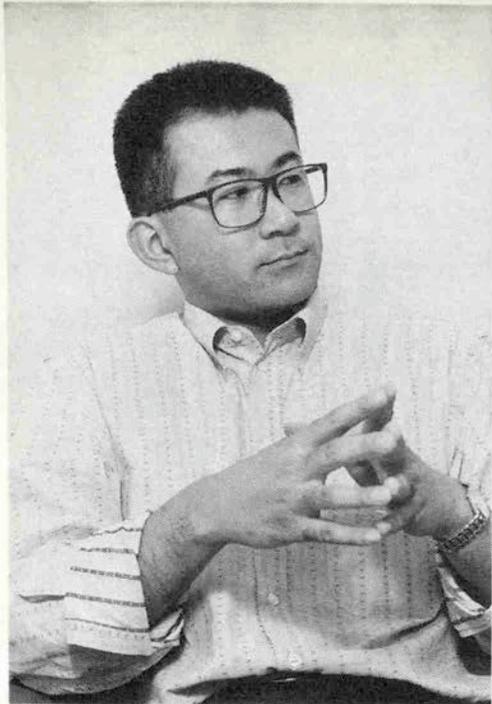
小室 それが「急造人工都市」東京と「自然発生都市」神戸との違いなんです。東京の場合には都市コミュニティを外都から先につくっていくわけですよ。その都市の中にはめこまれているハウスとかファミリーはあまり関係ないわけです。ところが神戸でファミリーと



若林 輝雄 さん

いえば小さなコミュニティ、逆に言ったらコミュニティは大きなファミリーなんです。ファミリーからコミュニティ・シティが出来上がってくる。東京は逆なんです。白羽 そうですね。

小室 だからそういう意味では、東京の人は「俺達は東京に住んでる」と言いながら、あまり帰属意識はないんじゃないかな。神戸の人間は家族、コミュニティ、都市に対する帰属意識が持てる。それ



白羽 赤仁（みつと）さん
昭和39年、芦屋市生まれ。滝川高校を経て 日本大学 芸術学部卒業。中学2年の頃より8ミリ映画の製作を始める。昭和59年「セピアタウン」（16ミリ）企画・脚本・監督。翌年、同映画にて第14回ブルーメール賞舞台芸術部門受賞。現在、初の35ミリ劇場用映画「シーズレイン」準備中。



岡田 美代 さん

は非常に幸せなことです。白羽 そうですね。昔から何か伝統としてあるんでしょうね。

小室 あるね。西宮にも芦屋にもないと神戸にはあるね。

白羽 神戸を除く阪神間というのは中心部に遊びがないでしょ。

小室 都市というのは、核となる界隈がないといけないね。そのあり方というのが面白くてね、界隈というのは異質なものがぶつかり合わないという界隈にならない訳だと思っただけ、芦屋にも一つの界隈があるかもしれないけど、何かこう、同質の人が出会っている界隈なんです。でも神戸の中心というのはやはり非常に異質な人がぶつかり合っている界隈です。僕は21世紀は異質なものの共存の時



小室 豊允 さん

代、異文明の時代だと思ってるんだけど、そういう意味では神戸とというのは21世紀を予感させる街なんでしょうね。

白羽 今神戸にいる外国人は昔からいる人が多いけれども、これからは昨日、今日の外国人が増えてくるでしょうね。その人達とのコミュニティのとり方というのが、まだまだ国全体ではできてないところがありますけど、その点慣れてはいるでしょうね。神戸の人達は。

小室 例えば昔屋の人は昔屋らしいものを、皆が何か同じようなライフファッション、ライフスタイルを求めるけど、神戸の人間というのは、あの人と同じように、ということはありませんで生きているんだね。東京の人も東京人のふりをしようとするし、大阪の人は大阪人のふり、「もうかりまっか」と聞いてみたりね。

白羽 神戸はもうかりませんけどね(笑)でももうからないということとは文化が発展しているということかな。文化はもうからない(笑)

●アートビレッジに白羽監督を

若林 最近発見したんですが、最近のナウイ女性というのは、片手で旦那様を持ちながら、片手でものすごいタイトロープしてるんですね。それができる人は、やっぱりいい奥さんだね。何もせんと

まあ何とか助けてくれる、ここに行けば仕事ができるみたいな主婦は全然ダメ。つまり生活クオリティのオリジナリティの問題なんです。神戸の百貨店にしてもオリジナリティが全くない、問屋にスペースを売ってる。それではダメなんですすよ。界限はあるがバーニーズ(ニューヨーク)のようなブランドデザインがないというのはね。

岡田 コピーも多いしね。

若林 そう、それとつまり小林一三のようなオーナー感覚の店が少なくなっているデパートに、問屋が乗っているだけなんです。だからオリジナリティがない。それが界限だと錯覚しているんだね。百貨店から問屋が退いてしまうと、何が残るんだろう。

岡田 そうね。でも話は飛ぶけど平中さんの作品にはオリジナリティがあるわよね。

白羽 あの男は見かけによらず頑固だね。

若林 でもそれがないとオリジナルな作品は撮れないね。絶対大事な事だよ。

白羽 そういう事に最近やっと目覚めましたね。業界の中にいちゃいけませんね。

岡田 神戸撮影所くらいつくらないとダメなんじゃない。

白羽 それには映画産業の資本じゃなく、全然別の資本で力を合わ

せてやらなくてはならないのが一つと、SFXに関して言えばハード部分が良くて、人材がまだまだいない。それを育てる環境を、その撮影所に含んでしまうというのを考えないといけないと思うんです。以前、黒沢明監督が東宝の社長に「東宝では撮影所とか映画館とか持っているフィルムとか、そういうことを財産だと思ってるけど、そうじゃなく人が財産なんだ」と言ったというんですね。

岡田 アートビレッジ構想というのが神戸の新天地あたりであるけど、白羽監督にそこに住んでもらったらどうかしら。芝居する人も集まってきてるし。



*セピアタウン'の上映会場で。真中は'シーズレイン'の原作者、平中悠一さん。

若林 こんなところが神戸に生まれるんだ、と想像させる所を撮って欲しいね。

白羽 そうですね。

●神戸だからこそ「感じる映像」を白羽 今回神戸に三週間いて、少し考えを変えたんですが、もう、美しく、かっこ良く、楽しかったらそれでいいんじゃないかと。映画が政治的言語で語られてきた、というのが日本映画の伝統にあった訳ですけど、もう、見た目だけで語る映画があってもいいんじゃないかと思うんです。

小室 それはもう、文学や映画が遅れてるんで、絵画の世界はとくにその「意味」を離れてるんですよ。ただ問題は、それじゃ「感性」とは何かという事で、面白い感性に訴えるものというのは、や



「セピアタウン」——。私達の心に何故かこびり付いて離れない。第二作目にも期待したい。

はり衝突とかぶつかり合いとかが必要なんです。その辺はどうか。

白羽 いわゆる、むき出しのパワーを表現するのはテレクさいんですよどこか。対立から生まれるパワーということはある程度考えていないですね。

小室 この頃アメリカでまた「意味」の映画が復活してるね。

白羽 不況だからでしょう。

小室 なるほどね。社会学の調査でも出てるね。不況期には小林旭が流行る(笑)。社会の上昇期には芸術もあまり意味みたいなものは求められないんだけど、下降期に入ると人間は一生懸命意味をほじくり出そうとする。日本はまだ十年は上昇期ですけどね。

白羽 それと、大衆娯楽としての映画も終わりやと思ってるんです。娯楽としては映画よりも他の遊びがあるわけです。いくら求めたところで映画の黄金期を復活させるのはムリ。それはあきらめという事でなく、別の方向で映画を考えていかないとダメだということなんです。とりあえず次作では、意味のない、人と人が接していることによって生まれる空気、ニュアンスというか、目に見えないもの、をとらえたいと思っています。

岡田 映像の「間」というかね。

若林 提案ですけどシーサイドのスーパーにヨットで買物するようなシーンは神戸らしいよね。意外に新しいシーンになると思うよ。

白羽 神戸はやはり、映画を撮ろうという夢を醒ませないところなんです。僕が十四歳の時、

8ミリカメラを持って神戸を撮ろうと思ったのは、神戸には西部劇的なかっこ良さもあるし、山があつて海もあり、そういう舞台装置が多分にあったからなんです。その夢を、今回はひとまわり飛躍させて皆さんの期待に答えたいですね。

取坂 白羽さんもそうだと思うんですが、私も久しぶりに神戸に帰って来ると、新しい街並みにとまどうんです。見聞きはするけど、昔からなじんできたものではないだけに、自分のものになっていないんです。その辺のブランドをどう埋めるか期待してます。

岡田 今度は時間もちゃんとかけていいものを作ってね。

小室 次作「シズレイン」に向けて我々も製作資金づくりを応援するしね。神戸の「感じる映像」の為に頑張ってください。

暑中お見舞い
申し上げます

平成三年盛夏

風のとき／赤いかたち／浮／植松圭三
写真／米田定蔵



財団法人 井植記念会

理事長 井植 貞雄

神戸市垂水区青山台一―二二―一
電話(〇七八)七五一―五二二六

医療法人 新須磨病院
慈善会

理事長 澤田 善郎

神戸市須磨区磯馴町四十一―一六
電話(〇七八)七三五―〇〇二四

兵庫三菱自動車販売株式会社
株式会社シュテルン神戸中央

取締役社長 西原 興一郎

神戸市中央区臨浜町二―一九―一
電話(〇七八)二三一―四七二四

明るい社会に役立つ

NHK神戸放送局



局長 西 昭道

神戸市中央区中山手通二―二四―七
電話(〇七八)二三一―四四〇一

神戸ベイシエラトンホテル
& タワーズ

代表取締役社長 阿部 信造

神戸市東灘区向洋町中一―十
六甲アイランドビル6F
電話(〇七八)八五七―七〇〇〇

DXアンテナ株式会社

代表取締役 藤野 良夫

代表取締役 前山 博

代表取締役 毛利 昌義

神戸市兵庫区浜崎通二―二五
電話(〇七八)六八二―〇〇〇一

株式会社 神戸新聞社

代表取締役社長 荒川 克郎

神戸市中央区雲井通七―一―一
電話(〇七八)二二一―四二二一

オリバーエバンス
カンパネラ有株式会社

代表取締役

フリックアップ A カンパネラ

神戸市灘区城の下通一―三三―一
電話(〇七八)八八一―九五三三

新星和不動産株式会社
神戸支店

取締役支店長 浦長瀬 稔

神戸市中央区磯辺通一―二一―二六
電話(〇七八)二四一―二〇〇一

株式会社 神明

取締役社長 藤尾 益也

神戸市中央区海岸通六―一―一
電話(〇七八)三七一―二三二四

石光商事株式会社

取締役社長 石光 輝男

神戸市灘区岩屋南町四―三―四
電話(〇七八)八六一―七七九一

JTB神戸三ノ宮支店

支店長 泉 寿夫

神戸市中央区琴ノ緒町五―一―二三〇五
電話(〇七八)二三一―四一一八

株式会社 ケーシーエス

取締役社長 川本 勢一

取締役社長 安田 宜行

株式会社 新生公司

代表取締役 森 治良

神戸市中央区元町通一―一―一
電話(〇七八)三九一―四五〇一

樽本産業株式会社

代表取締役社長 樽本 久

神戸市中央区相生町四―三―一
神戸ストークビル四〇四号
電話(〇七八)三七一―〇六六一

入船株式会社

取締役社長 村上 一道

神戸市灘区友田町五―二―二
電話(〇七八)八五一―三二九四

ナニワ印刷株式会社

代表取締役社長 西井 雄三

大阪市北区大崎一―九―一九
電話(〇六)三五一―七七七一

暑中お見舞い
申し上げます

平成三年盛夏



“人形” 佐藤忠良
写真／米田定蔵

伊藤ハム株式会社

代表取締役社長 伊藤 研一

西宮市高畑町四一〇七
電話(〇七九)六六一二三二

光印刷株式会社

代表取締役社長 南部 哲男

神戸市中央区下山手通二一六六一二
電話(〇七八)三二二一五五一〇

日産地所株式会社

代表取締役 山田 廣彦

神戸市灘区城内通五一一一
電話(〇七八)八〇一五六四一〇

芦屋 柿沼産婦人科

院長 柿沼 祐一

芦屋市公光町七一(阪神芦屋駅北一分
電話(〇七九)三一一二三四FAX兼用

帝真貿易株式会社

取締役社長 金井 英朗

神戸市中央区加納町四一八一七
電話(〇七八)三九一一二二六九

プロメテウス株式会社

代表取締役 所司原 義久

神戸市中央区北長狭通三一一一八
電話(〇七八)三二二一〇〇〇

東洋ナッツ食品株式会社

代表取締役 中島 泰介

神戸市東灘区深江浜町三〇
電話(〇七八)四五二七七二一〇

株式会社 ユーハイム

取締役社長 河本 武

神戸市中央区港島中町七七一四
電話(〇七八)三〇二一〇〇一〇

ジャヴァグループ

代表取締役会長 細川 数夫

神戸市中央区港島中町六一八一
電話(〇七八)三〇二一八二八二

建築設計施工 株式会社 アルビルト

代表取締役 岡本 聖治

西宮市甲子園浦風町六一六
電話(〇七九)四八三二五九

株式会社 ロイヤルパール

代表取締役 鶴谷 光裕

神戸市中央区磯上通四一一一四
電話(〇七八)二三一一八三九

株式会社 コーヴォ・アレダメント

代表取締役 杉本 勇和次

神戸市中央区下山手通三一一一五
パンプロスビル
電話(〇七八)三二二一〇二七

カワノ株式会社

代表取締役 河野 忠博

神戸市長田区大道通五一五
電話(〇七八)六三二一一六一

株式会社 チクマ

代表取締役社長 宇野 修

神戸市中央区元町通三二二一八
電話(〇七八)三三三一九一〇一〇

日産サニー

神戸販売株式会社

取締役社長 遠藤 宏

神戸市東灘区本山中町四一一三
電話(〇七八)四二一三三三三〇

株式会社 平安

代表取締役 富山 アキ子

神戸市中央区弁天町二一八
電話(〇七八)三五一〇一〇一

有限会社 逢坂真珠

代表取締役 逢坂 義光

神戸市中央区中山手通二一五一三
サンシャイン山手七〇四
電話(〇七八)二二二一一二二一

日清鋼業株式会社

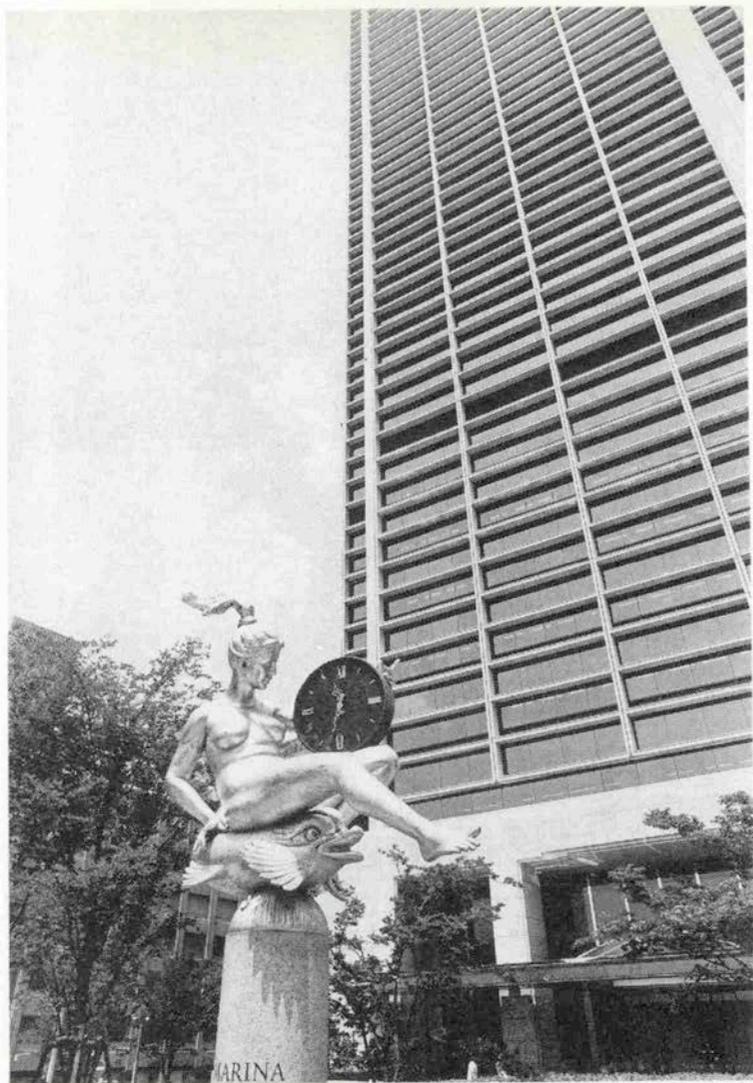
取締役社長 御手洗 博康

神戸市灘区岩屋北町四十四一
電話(〇七八)八七一五三三三

暑中お見舞い
申し上げます

平成三年盛夏

“MARINA” 新谷瑛紀
写真／米田定蔵



角田内外国特許事務所

所長 角 田 嘉 宏
神戸市中央区東町一三三—一
貿易ビル3F
電話(〇七〇)三二一八八三〇

金露酒造株式会社

取締役社長 大塚 恵一郎
神戸市東灘区魚崎南町五十五—四七
電話(〇七〇)四三二一六三五

神戸国際ステーションサービス株式会社

取締役社長 木村 三朗
神戸市中央区御幸通八—一六
電話(〇七〇)二五一八二七〇

神建産業株式会社

代表取締役社長 沓 脱 安 宏
神戸市灘区六甲台町六—一五
電話(〇七〇)八八一—二七五五

瑞 龍 寺

住 職 矢 坂 誠 徳
神戸市兵庫区吉田町三—一五—七
電話(〇七〇)六八一—一八四二

有限会社 反芻社

代表取締役 今 井 シ ン
神戸市中央区二宮町四—一三—一—一
二宮パールマンション三階三—一—一
電話(〇七〇)二六一—一三九三〇

ユーコーピー

取締役社長 上 島 康 男
神戸市中央区三宮町一—四—一九
電話(〇七〇)三三三—一三九七—一

今秋、待望のJASPA倶楽部”
誕生
日本旅客船株式会社

代表取締役社長 速 水 宣 二
神戸市中央区磯辺通四—二—一〇
電話(〇七〇)三三三—一五〇〇—一

ナポレオン・ヒル事業団
兵庫支部

代 表 者 藤 本 忠 弘
豊岡市中央町一〇—一—八
電話(〇七九〇)三二—一六八九

神戸果実商業協同組合

理 事 長 西 田 幸 一
神戸市兵庫区中之島一—一—一
電話(〇七〇)六八一—二七二〇

三洋化工株式会社

代表取締役 田 中 正 郎
神戸市中央区中山手通一—二—一—六
電話(〇七〇)三三三—一六六一—九

中西興業株式会社

代表取締役 中 西 健 二
神戸市北区鈴蘭台南町六—一—三—五
電話(〇七〇)五九—一—二三三八

株式会社 アトリエ
フルタ建築研究所

代表取締役 古 田 義 弘
神戸市東灘区本山北町三—一—一九
アミールオカモト3F
電話(〇七〇)四五三—一四〇七三〇

東邦生命保険相互会社
神戸支社

支 社 長 土 井 芳 弘
神戸市中央区栄町通六—一—二—一
電話(〇七〇)三六一—一五八八八

きもの&おしやれ小物
あらかわ

代 表 者 荒 川 豊 子
神戸市灘区山田町三—一—二—六
六甲SKビル
電話(〇七〇)八三二—一三三七〇

笹倉玄照堂

代表取締役社長 笹 倉 玄 照
大阪市中央区北浜二—一六—一九
北三ビル6F
電話(〇七〇)二三三—一二二七七

兵庫日産自動車株式会社

代表取締役社長 廣 瀬 博 美
神戸市中央区脇浜町三—一—一—八
電話(〇七〇)二五二—一五五三三

商業写真・出張撮影
米田フオート

米 田 定 蔵
神戸市長田区池田寺町一—一—一〇
電話(〇七〇)六九—一—三五四七

神戸がインテリアデザ インの発信基地になる

座談会出席者〈敬称略・馴不同〉

赤松 武寛〈神戸芸術工科大学助教授〉

安田 讓〈榑永田良介商店
取締役営業部長〉

金丸 雅博〈金丸建築設計室室長〉

杉本勇和次〈榑コーヴォ・アレダメント
代表取締役〉

★神戸らしいインテリアデザインって、何？

司会 神戸がファッション都市宣言をして二十年になり
ますが、ファッションを「衣・食・住」全体にかかわる
ものと考えており、これは神戸の独自の考え方であり、そ
れなりに街づくりにプラスになってきたと思われま

そう。いった神戸の文化を背景にした都市づくりにつ
いて、今回は建物やその中身のインテリアデザインにつ
いて考えていきたいのですが、インテリアデザインとい
てもその範囲もむつかしいのですが、まず神戸芸術工大
の助教としての立場から赤松先生いかがでしょうか。

赤松 建築の中に色んな分野があり、インテリアとひと
こと言っても、非常に多くの面があります。例えば一
般住宅とか商業建築、モニュメント空間みたいなものま
であり、間口も広いですし、また質的な面でもデコラテ
ィブなもののみが重視されるなどの傾向がありますが、
職業としてのインテリアデザインというのは、日本の中
ではまだそんなに確立されていないわけですね。店舗設

計とか、インテリアデザインのエレメントである家具と
かという部分はかなりはつきりしてきていますが、住宅
のプランニングや質の問題、身障者や老人のための住
宅、それらをひっくるめた変化する空間の問題、また安
全や防災もインテリアの問題になりますし、地域との関
わりの中で、つかみにくい面がありますね。

安田 確かに分野はかなり広いですね。私の場合、ト
ータルを考えてやっていますが、やはり家具が主体です。
家具といっても非常に深いものがありまして、技術習得
にも年月がかかります。トータルに一人の人間がすべて
をやってしまうということは難しいですね。家具だけで
も場所の問題やら人材の問題を抱えていて、業界に入っ
ても結局7、8年かけないと一人前にはなれません。そ
こでいまの若い人たちということになるんですが、それ
も3Kの問題やらで人材確保が難かしい。

杉本 私は、神戸で店舗の設計、企画などをやっている
んですが、最近感激した本に「神戸の100年」という
写真集があります。神戸市が出したもので、順番にめく
っていくといつの間にか百年になってしまおうという楽し
みながら見られる本ですが、考えてみれば神戸の歴史と
いうのは百年くらいで大きな変遷をとげている。旧居留
地にしても歴史は百年くらいですね。その辺から考えて
も神戸に相応しいデザインというのは、つかみにくいよ
うに思えるんです。

自分自身の経験からみても、自分の育った環境がデザ



杉本 勇和次さん



金丸 雅博さん



安田 諒さん



赤松 武寛さん

インの感覚にかなり影響しています。神戸で言うくと、東南アジアへ行っても中国へ行っても、高架下の店舗などで類似している部分があって、神戸の立地がある種の人種のルツボのような条件に影響を受けているような気がします。明石の瓦や西脇の織物、姫路の皮革といった歴史のある地場産業とは違って、もう少し新しい物で神戸が構成されていると思うんですが。

金丸 商業ビルをメインに、建物とインテリアを両方設計しているんですが、インテリアデザインに関していえば、神戸は非常に遅れているんじゃないかと思うんです。他の都市から見ると、神戸は山あり、海ありで非常に過大評価されていると思います。昔の居留地や海岸通りなんかのイメージが植えつけられているんです。

そういう意味では、神戸独自のものを出していかねければならないと思っています。良いものを残した功績は大きいんですが、ひとつの建物をどう考えるかになしに、街全体というイメージで考えていくと、神戸らしいものが出てくるのではないかと。街角のデザインが神戸のデザインであるみたい。

赤松 関東の場合は、東京を中心に街が同質化されていますが、関西は、京都、大阪、神戸、奈良というふうに歴史も街の性格もそれぞれはっきりしている。その中で神戸というのは百年くらいで新しいですね。地域性に根ざした建物とかインテリアというのは、もっと古くならないと出てこないんじゃないかと思うんです。いわゆるインテリアとかの美的価値観というのは、生活慣習の中から生まれて積み出てくるもので、京都の町屋のインテリアなどは、もう抜き差ししないところまで高められています。ところが、神戸のキーワードは、やはり港の雰囲気とか異国情緒あるいは並木、緑、ハイスセンスとかみんな新しい雰囲気、それがファッション都市宣言にうまくマッチしている。別の言い方をするとひとつのものの核ができて、少数の人がそれを認め、次に多くの人が認めるようになって形がはつきりして来る。その動き

そのものがファッションで、それが生き残ると京都の町屋のような様式というかカスタムになる。

神戸はまだその過程にあるんです。でも物事は、動いている過程が一番面白いといえます。

金丸 他の都市からみると、神戸のファッションはエレガンスでもあって非常にいいと言われているんですが、半面、頑固さというか、保守的というか、商業空間にしても、われわれがやっていることが受け付けてもらえないところもあるんです。札幌や博多の建物なんかは東京に良く似ていますね。神戸などでは、守らなければいけないものを非常に大事にしている、それも必要だと思うんですが、われわれの仕事の範ちゅうでは、そういったものも変えていかないといけないかなあというのも実感です。

★新旧の調和で、神戸独自のデザインを

安田 神戸は、海と山が接近した街で、リゾート地のイメージで来られる方が多いんじゃないかと思うんです。新しい建物よりも、北野町あたりのものを求めてきてくれる人が多いわけで、皆さん、新しい空間よりも古い空間の原点に戻っておられるんじゃないかなあと。しかも若い人が集まる。TVの風見鶏があつてから急激に増えましたね。新しい街といいながら、そういった面でなかなか思うものが伸びてくれない悩みのようなものもある。

杉本 神戸の人の北野町のイメージは、観光客が集まるところという感じだと思えます。何年か前、女性雑誌に出ていたのは北野町、京都の北山、大阪の鰻谷などが新しいエリアですね。そういう意味では北野町は旧居留地に変わりつつあるところですね。神戸の人が感じる美しさと、他の地域の人が見た神戸は別のもので、その地域の中でないとわからないようなものをかき立てるのが、われわれの作業ではないかと思えます。

もうひとつは、商業デザイン、店舗デザインを手掛けている者にとって、開発されて巨大なショッピングができる

と、必ず全国的な巨大な経済力のある企業が進出してきて、その設計なりイメージを神戸の中に持ち込んでくる。こういうケースは、不特定多数の最大公約数としては成り立つかも知れませんが、もう少しエリアを絞った場合には適合しないと思うんです。全国的な雑誌に出るものが必ずしもいいとは限らない。東京の人に理解してもらえないものがないとはいえないというか。

安田 神戸の街を作ってきたというのも、本当に神戸の人が作ったのか、外からの資本かという問題がありますよね。

杉本 過去の経済の流れといまとの違いは、例えば南京町でブタマンを初めて売ったというのは非常に小さな力だったのですが、いまはハーバランドなんかで大きなビルを建てて、中にデパートを入れてというふうになってきている。アーバンリゾート構想なんかで、どんどん新しいものを作っていくのも神戸の歴史からみて、当然のことかとも思うんですが、標準語を全国で同様に使うのがいいかどうか、そういった異和感のようなものもありますよね。

赤松 ひとつの街の魅力と云うものは、過去に遡って見ることが多い。ノスタルジーですね。東京は随分変わっています。基本的には江戸なんです。京都には平安時代の文化がある。大阪はもう少し新しくして太閤の時代から。それぞれの歴史の上にその街の価値基準を作っている。神戸の場合をノスタルジーとして遡ると明治以降になってしまふ。この時、神戸に感じるの、われわれの生活に結び付く。インテリアとか建築の面では異人館、アメリカ屋、阪急沿線などになる。アメリカ屋が、神戸にどれだけの力があつたかは知りませんが、イメージとしては結び付く。それ以上には行かないが、それを逆手にとって神戸は動いているんだなという感じはある。

神戸の人たちにとって、これは自分のお爺ちゃんの時代だったり、自分の幼い頃だったりして、過去がまだキチンとした実感としてあるから、他の街より頑固なんだ

と思うんです。神戸のセンスは、若い人だけでなく、お爺さんやお婆さんも持っていますしね。大阪の街では、ほとんどが貸屋だったり、雇われオーナーだったりするのが、チョットした神戸の飲み屋は自分の店で、自分の店のインテリアもやり、そして、そのセンスもいい。これはなかなかないことですね。

金丸 暖かい生活ができる空間ですね。

赤松 それが生活感情だと思っんです。

金丸 商業空間の店舗設計というと、商売のために作る空間で、住宅空間と違って非常に非日常的なものです。

東京なんかでは、いままではなかったものを作るのがインテリアで、それはそれでいいんですが、神戸では、逆に何でもないものが輝いていて、非常にいいという。これが神戸のインテリアではないかと。形はシンプルだけど落ち着きがあって、広がりがあって気持が安らぐ。一方では、奇をてらつて人を無視したような真っ赤な部屋にする。どうしてかという回転率をよくするためというんですね。そうしたことも必要かも知れませんが、必ず人が入るわけですから、神戸の方向としては、目新しくなくても神戸に来ると落ち着ける。そういう人を中心としたものが神戸のインテリアなんじゃないかなと思っんです。

赤松 ノスタルジーが街全体に、いまに生きているという感じですね。

安田 家具を買いに来てくださるお客さんも、他の地域の方が多いいんです。家具はどこへ行ってもあるし、量産しているところも最近はずばらしい技術でやっつていらっしやいます。とにかくよそにない、手作りの良さを求めてわざわざ来てくださるんです。これは個性の強いものに魅かれていますという表われですね。

とくに決まった様式はないんですが、向こうのものをそのまま入れるのではなくて、自分のところのものを作るよう努力しています。

いままでは、若い人は見向きもしなかったのですが、

さきの異人館の話のように若い人も増えましたね。目が変わってきたと思っんです。われわれのような古い物も持続しているんですから、新しいものも古いものも求めて来られるのが神戸ではないかと。新旧とりまぜた街づくりがやはり神戸らしく、すばらしいと思っんです。

昨年、ノザワさんが、新社屋を建てましたが、従来本社であった明治時代の洋館の後ろにビルが建っている。見てますと、なかなか調和しているんですね。

★ファッションをカスタムに、市民の感性がものを言う

杉本 永田良介商店さんの家具だけでなく、昔は神戸の靴、鞆、帽子なんていうのがあって、買おうという一般の生活意識があったんですが、いつの間にかそういう風潮がなくなつて、靴を買うとなればデパートへ行つて世界的なブランド物を買うようになってしまった。いまわれわれの資産である北野町を売り出して、旧居留地も売り出してと切り売りしていくと、だんだん売り出すものがなくなつて、新しいものを作り出さなければならなくなつてくる。

建物の場合でも建築基準があつて制約される。例えば天井の高さとか、防災上の規制とか。デザインも小手先のものになつてしまふ。そういう意味では、面白いものを作るためには、その土壌も考えていく努力が必要になる。神戸でモノを作つていく問題点ですね。

安田 私どもでも、店舗でいえば規制があつて、木が使えない。家具はいいんですが。

金丸 そうですね。商業的な空間では、ほとんど木は使えませんね。もし使えても設備に相当なお金をつぎ込まないといけないですね。制約がありますね。

赤松 商業空間とか、モニュメント空間というのは、非日常性を求めるものなんですけど、その願望といったものは結局、そこに住む人の感性によって決まってくるものだと思います。感性が受け入れられないものを作つても誰も任んでくれないですから。神戸なら、神戸市民の感性

にいいものがあれば、商業空間を作るにもやりがいが出てくる。神戸市民の持っている日常的な感性が明治以降のモダン、そのモダンには古さがありますね。近代的というモダンでなくて。だが、その中からありきたりのファッションを打ち破る超近代的なモダンが生まれてくるのじゃないかと。

例えば、ポートアイランドで各企業が競って近代的な空間を作ったりしてますよね。そういうものが現われてそれを人びとが受け入れていく。そして神戸のダイナミズムが生まれてくる。神戸の場合は、市役所など公共の力が強いから一戸建て住宅などもどんどんできる。そういうところがオピニオンリーダーになっていい街がにじみ出てくる。そういうことが大切なので、商業空間も個人の住宅もつながっているんですから、商業空間を支える神戸の感性は重要視していきたいですね。

金丸 ストリートでいえば、そこに意味のある約束事を決めていくのもひとつの考え方ですね。京都の場合は、いろいろと色まであるんですね。街角を守るという意味からすると、大切な部分もあって大変なことですが。

赤松 西宮、芦屋あたりから六甲アイランドを通じて須磨、舞子に至るベイエリアの連続性はすごいものですね。完成すれば、全国にない神戸の強烈なインパクトになりますね。

安田 景観に対する色という意味では、信州の岡谷へ行った時に山肌のグリーンにいくつも建物があって、全部屋根が赤色なんです。それが非常によくマッチしていて、ああ信州へ来たなと。

金丸 自然に溶け込んでいるんですね。神戸でも例えばビルの屋根をグリーンでなく、三角屋根にしてみるのも面白い。

赤松 神戸の街のビルの屋根に変化があり、湾岸道路と各施設の色をコーディネートすると、海からの景観は素晴らしいものになる。新空港のアクセスができるとなおさらですね。

杉本 もっと神戸という主張があったといい。それを神戸のアイデンティティーにしてね。それからもっと女性が活躍してほしいですね。生活の営みにかかわる問題ですから柔らかさとか肌合いの良さで、もっと女性が出てきてくれる場があればいいですね。

金丸 曲線ひとつをとっても、いろんなものがあるって、頭で考えていても実際にそれをこなすとなると難かしい。ディテールの部分をもっと考えることが必要。昔の大工さんなんかすごい人がいましたね。そういう学校も必要なかも知れません。

安田 図面はあっても、それで自分のイメージを傳達することは非常に難かしい。私なんか職人さんと一緒にあだこうだと共同制作するんですが、若い人材が少なくなつた。感性の鋭い若い人を育てる機関も必要ですね。

赤松 神戸がデザインの発信基地になることですね。神戸が魅力ある発信基地になれば人材も集まらないう。とくにインテリアは新しい分野ですから、インテリアデザイナーの育成が必要です。神戸芸術工科大学も発信基地として人材を育成し、提供して神戸の情報発信のお役に立ちたい。

ファッションの語源はラテン語で、基本的には移り変わりということなんです。流行といえばブームとかモードとか短期間のもんですが、例えば、江戸時代初期の数寄屋造りはファッションで、書院造りとは別のところから時代の風潮に乗ってできたモダンだと思っんです。それが残ったんですね。それがカスタムになった立派な証拠です。そういったものを神戸で作るといことが目標です。大それた望みかも知れませんが、ファッションは単なる流行とは別のものという定義づけがまず必要で、手前味噌になりますが、芸術工科大学で優秀な人材を育成するよう努力したいと思っています。

△於 兵庫倶楽部▽

田崎真珠株式会社

取締役社長 田崎 俊作
神戸市中央区港島中町6-3-2
TEL (078) 302-3321

オールスタイル株式会社

取締役会長 川上 勉
神戸市中央区港島中町6-5-1
TEL (078) 303-3311



キャンペーン「神戸の観光と魅力を探る」の
企画は以上各社の提供によるものです。

★新感覚のパール アートコレクション

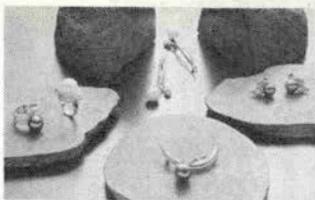
山勝真珠から60周年を記念して、新しいパールのシリーズ「OPERA」が誕生。今までにない個性的な商品だ。デザイナーを担当した林正毅さんは「パールの魅力は清楚な優しさと親しみやすさだが、それ以上に魅力的な宝石である」と語る。ぜひ一度お店を訪れていただきたい。



■さんちか ローザ アベ
ニュー ☎391-4325

★木下パール

「サマーコレクション」
夏のスポーツティファツシ



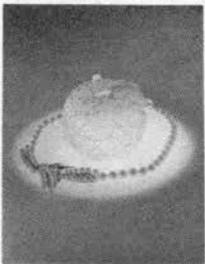
ヨンにはキユートなパールを、夜のエレガントな装いにはゴージャスな輝きで、自由に夏のおしゃれを楽しんでみませんか。



■中央区山本通1-7-7
☎221-3170

★好評の「テュケ」

さわやかに夏を迎えて
タカハシパールジュエリー
コレクション'91が、6月28日〜30日の間、貿易センタービルにて開催された。今回のメインはもちろんオリジナルブランド「テュケ」白蝶貝、オニキス、ラピスをあしらったジュエリーの数々。なかでもペンダントトップが帯止めにもなるネックレスが人気を呼んだ。



■中央区山本通1-6-20
☎221-0075・6656

★藤井美智子

ゆかたパーティ開く
7月6日(土)午後4時より旧居留地の神栄ビル7Fのギャラリー貴八で、藤井美智子(モードメイトミチコ)さんが、第13回のゆかたパーティを開催。田淵あきらの司会、小田格のエレクトーンで100人のお客様を前にたんすで眠ったゆかた地を再生した楽しいショー。



■東灘区本山北町5-13
11 ☎431-8051

★リキエル・オム誕生!

ソニア・リキエルが彼女
の哲学「アモード(脱流行)」
を紳士コレクションに生かしてリキエル・オムを発表



した。ショップとしては日本では東京に次いで北野の異人館倶楽部パートIIのソニア・リキエル北野店を拡張してオープン。あなたも

一層お洒落に変身を...

★クロの創作オリジナルブランド、ヌフ・メイ登場! 同じくリキエル・オムの隣にオープン。ユニークなキャラクターのプリントやアクセサリーは、ゴルフなどのスポーツやリゾートライフをよりプリティで楽しいものにしてくれます。アイスパーク、キャステルバジャック等のスポーツテイナラインも揃い、明るくてポップなお店です。



■中央区北野町2-89
異人館倶楽部 Part II
☎221-9600

★引奏砂丘子コレクション

9月5日(木)PM1時、3時、7時から東京の有楽町、朝日ホールで「CATS」をテーマに詩的で奔放な色彩を猫とのシンパシーあふれる世界で展開。チケット申し込みは左記事務所まで。

■東京都港区高輪2-1-10
10 カクシマビル2F
☎03-3442-1820



月刊神戸っ子

30周年記念特集

神戸へのメッセージ

株式会社平安 代表取締役

富山 アキ子

神戸に本格的

葬儀会館オープン!

昭和45年に冠婚葬祭業「平安」を創立、昨年20周年を迎えました。結婚式場「平安閣」と葬儀場「平安祭典」は阪神間に合せて10館、またレンタルブティック「シンデレラ」は東京・横浜へも支店を持つようになりました。

昔、自宅で行われていた結婚式がホールへ移行したように、現在御葬儀も自宅で行われなくなりました。多くの方は天寿を全うされ、御葬儀の雰囲気も随分と変わり、葬儀場は明るく清潔さと共に便利さが大切であります。

今年8月には西神中央駅前に「平安祭典西神会館」をオープンいたします。お参りされる方に交通の便も良く、快適に参列していただけるよう、また主催される方には、お通夜から御葬儀、その後の法要、御香典返しまでトータルにお手伝いさせていただきます。

宗派を問わずご利用いただけますし、収容数は関西一となります。神戸で初めての本格的葬儀会館に、ご期待下さい。



平安祭典西神会館
神戸市西区美賀多台9丁目2の1
TEL 078-99214200

□ ハロー対談

NTT

ふれあい大切に “バートフル・ コミュニケーション”

ゲスト

雲井世雄さん

〈兵庫能福寺住職〉

田中悌二郎さん

〈NTT神戸西支店長〉

西へ北へと広がる神戸市、世帯数も人口も増え続けている。NTT神戸支店は、その変化に逸早く対応、支店が分割され新たに神戸西支店が設置された。

長田区に位置する神戸西支店に就任した田中悌二郎さんが、再建されたばかりの兵庫大仏・能福寺の雲井住職さんを訪ねました。

★心のこもったサービスを

田中 NTTの電話事業は、明治23年の創業来丁度100年目ですが、ここの大仏様も100年前のお生まれなのでですね。

雲井 皆様のお陰で100年と1日目にお帰りになりました。

田中 ところで、いい書齋ですね。雲井 お恥しい(笑)。これは中世の天球儀、この本は1496年に出版された天動説の教科書と言われる本なのですよ。

田中 ホー、この天球儀の絵が描かれていますね。私もNTTでは、電々公社は天動説と言います。星のお客様が動いて地球の電々公社を訪れる。NTTになってからは地動説なのです。我々が動いてお客様のおへ行くのです(笑)。

雲井 良いお話ですね。
田中 7月1日に出来たばかりの神戸西支店では、より心のこもったサービスをと考えています。神戸は人口149万、所帯数54万、電話数は72万にもなるのです。支店一つではゆきとどかないと、分割し兵庫以西、西区までが神戸西支店となりました。東地域の37万回線は中央区を中心にビジネス電話が

70%、西地域は35万回線の内住宅電話が80%なのです。ですので、我々は家庭の電話を中心に、地域と地域のお客様とともに、ハートフル・コミュニケーション“をテーマにして密着したサービスをモットーとして密着しているのです。

★便利さもマナー良く

雲井 私は、携帯電話と自動車電話を持っていますが、奉賛会設立以来どこでもジャンジャンかかってくる。くたびれてしまって、この書齋に籠もって居ない事にしてくれと……(笑)。饅頭怖いじゃないけど、電話が怖いですよ(笑)。
田中 それは大変ですね。最近はお車でも食堂でも人の事はお構いなしに、例の件処理してくれ”なんてやっていますよ。マナーの問題がありますね。タバコは、吸いすぎに注意しましょう”と書いてあります。電話も“かけすぎに注意しましょう”では我々が困ります(笑)、マナーには注意して欲しいですね。

雲井 誰からかかって来てるか分かったら、電話に出るのも選択できますからね。

田中 発信電話のデジタル表示は、



出来るのですが、プライバシー侵害の問題があるので検討中なのです。いたずら電話などに対して、操作すると二度とからなくなる「迷惑電話防止」は近々サービス開始の予定です。

雲井 キャッチホンというのも、女房の長電話対策には重宝していただきます。が、仕事の大切な話しながら、かかって来ても中断したくはない。

相手は呼び出し音だから「留守ばかり」と言われたり、途中で他の電話に出て相手の気を悪くさせたりがありますね。

田中 そうなのです。そこで売り込みになりますが、事務用にはもう一本電話を付けていただくと便利です(笑)。

雲井 本の注文にはFAXが便利

ですね。電話では正確に通じにくいのですが、FAXで送ると15〜20分後には在庫の有無や関連書の情報を送り返してくれる。迅速で確実で、毎度感心しています(笑)。

がビッシリですって。お座主は、人生先に目標があると長生きできる。と言われます。私も1億2千万の借金があるから、まだまだ死ぬません(笑)。

田中 たばこ屋さんや酒屋さんにFAXを置いてもらいたい、公衆電話の感覚で気軽に使っていただけだと、街角FAX運動というのもしているのですよ。

田中 滋賀は兵庫と同じくお寺が多いです。テレホンカードで、お釈迦様や大仏様の絵柄が手で持つと、手のぬくもりで経文が浮き出るものが流行っていますね。

★目標を持ってハートフルに
田中 私は滋賀県出身なのです。去年、三井寺の智証大師千百年御遠忌大法会で千宗室の献茶会に参加したとき、比叡山の座主さんにお目に掛かりましたが、お元気で

雲井 今まで何度かテレホンカードを作りましたが、開眼法要の時は2時間で全部なくなつて、今はないんですよ(笑)。

お目に掛かりましたね。
雲井 97歳。中国で百歳のお祝い

田中 カードのケースをセツトにして、見開きで歴史や由来を書くといいおみやげになりますよ。是非私どもにお手伝いさせていただきますね(笑)。



「小学生の頃、体が大きくて大仏さんと呼ばれていたのですよ」と田中支店長

望月美佐
の
社長対談

神戸—横浜定期クルーズ「ジャパニーズドリーム号」一周年

一期一会の出会いと感動が生れる

速水宣二（日本旅客船区代表取締役社長）

望月美佐（書家）



ジャスパクラブの夢を語る速水社長（左）望月美佐さん

神戸—横浜のクルーズで人気のあるジャパニーズドリーム号のオーナー速水宣二社長（ジャスパKK）を、船旅時代、リゾート時代に生きる最前線の話題に、書家の望月美佐先生が一期一会の出会いを語る。

望月 焼肉「はや」の専務でいらっしやる速水社長が、なぜ船主になられたんですか？

速水 私は、レストランを通してもてなし業を天職だと、昔からも今も思っています。実は3年前、昭和63年にNHKドキュメントで青函連絡船が失くなるテレビを見て、深い哀愁と、感銘を受けて二日後に、船会社に勤める同級生と飲んで又その話が出て、二人で見に行こうと函館へ飛んだんですよ。

昭和29年に台風で洞爺丸事件があったって、10年かけて41年に最高に安全な連絡船を造って、その船姿の凄さ、偉大さに感激して、彼らのウハウと私の仕事が合体したらしい客船になる。21世紀は、ゆりの時代だし、海国日本の客船の入門編をやるうと意気統合して…。

それからJR北海道へ日参（笑）相手にされなかつたけれど熱意が7隻の船に35社が競って、最後は社長を動かし遂に夢が実現した！

望月 いやーそれは凄い迫力。いい話ね。私も韓国生れで、釜山港から下関港の関釜連絡船で何度も往復して、女学校の17才の時に引揚げ船で帰ることになって。みーんな揚げたりゲエゲエいつてるのに私はケロツと強いよ(笑)。当



時から社交性があったから船員さんの部屋でホットケーキ焼いてもらったり(笑)。瀬戸内海や、廣州、香港とか船旅はしたけど、最後は世界一周が夢だわ。

速水 先生は、太陽の申し子じゃない。アポロン美佐(笑)私も先生の魅力にとりつかれてね。何だか縁起がよくなるから不思議(笑)。

9月30日に、望月美佐先生を囲む秋の船上パーティを、ジャパニーズドリーム号でやって頂きます。望月 ええ昼間なので一人7千円位で。来年はチャーターして吾人泊れるそうだからぜひ企画します。

この船の魅力話を話して下さいよ。速水 1年の内170日は神戸ー横浜の航行で、後は瀬戸内海や、大阪湾などのクルーズと、チャーター船ですね。関東の人達は、神戸、京都、大阪への旅が人気で、関西からはデイズニールランドと横浜。神戸から昼3時に出航すると、紀淡海峡で夕日を迎えて、伊豆半島をめざして北東に航行し、遠州灘(名古屋沖)が朝の4時半。日の出と富士山が素晴らしいですよ。夜空の星と天の川もいいし、5月の夜光虫も風情がある。それに太平洋の鯨、潮を吹く鯨をしよつ中!

それに夜は、私の23年間の料理業の真髓味わって頂いて、仮面舞踏会やデイスコにカジノ。何しろ寝かせナイトクルーズという(笑)望月 今度はジャスパクラブを創るんでしょう? 10万人ですか…

速水 ええ、ぜひ応援して下さい。実は1年航行して、金、土は切符

がとれない程満員で。ところが月曜など平日の昼だけとか夜だけのハーフデイズに人気があるので、月3千円会費で1年間積み立てるのがジャスパクラブの会員制で、まずハーフデイ乗って、料理とショーと買物(一流百貨店)とで楽しんで頂く。秋にはucc、キリン、伊藤ハム、はやの和牛など五千円相当を年4品お手許に送ります。船での出会いをぜひおすめしたいんですよ。

望月 旅は出会い、肌で感じる感動をもって書もやらないと。私もアンコールワットの旅で凄いカルチャーショック! 人生は一期一会で感動しなくちゃ、ものづくりなど出来ませんよ。ジャパニーズドリーム号もいい船旅の出会いを創って下さいね。

横浜へ、神戸へ。 10,000トンのワンナイトクルーズ 客船ジャパニーズドリーム



JD JASPA
日本旅客船株式会社

本店：神戸市中央区磯辺通4-2-20 〒651
神戸ビルディング325 Tel.078-222-5001 Fax.078-231-4000
本社：東京都中央区日本橋本町4-14-7 〒103
ニュー日本橋ビル7F Tel.03-3639-2291 Fax.03-3639-1527
ジャパニーズドリーム： Tel.030-02-63633-5



● TIS三宮リニューアルオープン

おしゃれでトレンドイ、 夢がいつぱいの 旅の情報発信基地

ハート&アクション
JR
JR西日本

神戸の玄関口「JR三ノ宮駅」。明治四年に開通し、今の場所と建物になってから五十五年、その古い構内が、いよいよ生まれ変わる時が来た――。

工事が始まってから一年四ヶ月。白い壁で囲まれていた中央口の構内が七月二十日、とうとう我々の前に姿を



長所昭英 横英昭
井、磨かれた大理石の床

現した。まばゆいばかりの白い天井の床――そして、おや、これは何だろう。

喫茶店？ それともカフェ・バー？――。思わず足を中心に運んでしまうこのスペースは、そう、これも又新しく生まれ変わったTIS三ノ宮。――

「TISへようこそ」

横英昭所長がにこやかに、とまどうお客様を迎える。モトーンにおさえた店内は、今までの旅行センターとは一味違うようだ。夏休みのかき入れ時の忙しい時間をさいていただき、まず「TIS」の紹介からしていただいた。

「TIS」とは、Travel Information Satelliteの略なのですが、三年前にいたJR西日本エリアの旅行センターの新しい名前で、「旅の情報基地」といった意味です。ウエンス」という、当社の



シックな店内にブルーとピンクのイルミネーションが美しい

商品だけでなく、他社の商品も揃え、すべての旅の情報がここでつかめるようになっていきます。まあ、いわゆる「旅のデパート」ですね――

なるほど店内には、各種類のパフレットがずらり。気軽に腰掛けられるスペースも多く、夏の日差しをよけて



相談には比較的すいている午前中がお薦め。

涼みに入ったついでにパンフレットを手取るパターンも多いそう。

「待ち合わせに使っていただくのもいいですね。そうして少しでもパンフレットに目を通していただいて、相談

し易い雰囲気を持っていければいいと思っ

ています」

旅行会社にして

みれば、この三ノ

宮駅中央コンコー

ス内というのは、

のだから手が出そ

うなほどの一等地

入りやすいという
点では、他社より
群を抜くだろう。
それをどう生かす
かがこれからの課
題だ。



中央コンコースの完成式。引き続き今度は東口の工事に入っている。

「ああ、相談してよかった」と思わせる接客とは——
「女性十二名でお客様の相談を受け付けています。いつも笑顔で、そしてこの新しい店で仕事が出る喜びを忘れないように、と指導しています。他の旅行会社に比べると若干キャリアは短いですが、来て下さったお客様に満足していただける、そして一人でも多く再来場していただけるような店を目指す意気込みだけは負けません」
では、最後に読者の皆さんに旅行のアドバイスを。



楽しいプランが、目白押し。秋のツアーパックの人気も上々

後で適当に
キャンセル
します。
だから諦め
ないことが
肝心。相談
は電話でも
いいですか
ら、遠慮し
ないでかけ
てきて下さ
い。店が混
んでいるとき
はなかなか
取れない事
もあります
けれどね。」

笑顔がさわやかな横所長。姫路から転任してこれれて
まだ日は浅いが、早くも神戸の新しい顔になろうとの意
欲は充分伝わってきた。頑張ってくださいね。

取材／編集部 藤田真理

神戸市中央区布引町四—1—1 J R 三ノ宮駅構内
☎ 078—221—4500
営業時間 10時～19時（日・祝10時～18時）